

# 一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

## 平成25年度第6回 理事会 議事録

〔開催日時〕:平成 25 年 10 月 17 日(木曜日)11:30-13:30

〔開催場所〕:幕張メッセ国際会議場 1 階 103

〔出席した理事〕:持田讓治、中村博亮、川上守、徳橋泰明、小森博達、井口哲弘、加藤真介、  
加藤義治、川上紀明、橋本友幸、長谷川徹、平林茂、松山幸弘、米和徳

〔出席した監事〕:小西宏昭、佐藤哲朗

〔議事の経過の要領及びその結果〕

持田讓治理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

### 決議事項

#### 1 第 1 号議案 2013 年 7-9 月の新入会・退会について

加藤義治理事より資料に基づき 7-9 月の入退会者について説明し、各理事は審議し承認された。

#### 2 第 2 号議案 大正富山 AWARD 選考委員会委員について

小森博達理事が、資料に基づき大正富山 AWARD 選考委員会委員について説明した。

持田理事長から基礎と臨床の委員数名の入れ替えの提案があり、各理事は審議した。その結果、基礎と臨床の担当2名を入れ替した案とし、承認された。

#### 3 学術集会の開催場所決定について

持田理事長が、当学会が脊椎脊髄病域において、日本およびアジアを代表する学会となりつつあることなどから、その学術集会については世界標準のアメニティ・利便性・規模を兼ね備えた会場を選定すべきと考えていると発言した。また、下記の8つの地区が今後の学術集会会場候補として示された。

①札幌 ②幕張 ③東京 ④横浜 ⑤名古屋 ⑥京都 ⑦神戸 ⑧福岡

各理事は審議し承認された。

### 審議・報告事項

#### 1 第 44 回学術集会のテーマ・プログラムについて

川上守理事が委員会で検討の結果、3 年～5年程度継続させたいテーマとして①骨粗しょう症 ②脊柱変形 ③疼痛(痛み)があがったと報告した。また、その詳細については委員会で詳細をつめていき、ホームページでも公示することが提案され、各理事は審議し承認された。

#### 2 第 45 回日本脊椎脊髄病学会予算案について

川上守理事が、資料に基づき第 45 回学術集会について予算書を提出し、説明した。見積もりを検討した結果、価格・日程・徳橋会長の利便性などを考慮し、会場:幕張メッセ、会期:2016 年 4 月 14 日(木)～16 日(土)、コンベンション:コングレの案を理事会に提案し、各理事は審議し承認された。

#### 3 HP について

小森理事が HP の改訂状況について報告をした。

#### 4 今後の社会保険等システム検討委員会のあり方と問題点について

川上紀明理事が、現状の社会保険等システム検討委員会(以下、社保委員会)について、外保連、厚生労働省、日整会との関係などの実情と問題点を報告した。

持田理事長が、来年の4月には理事会も改選されるので、その際に上記のことはよく検討したいと回答した。

## 5 JSRにおける二重投稿およびオンライン化問題の進捗状況について

平林理事が、資料に基づきJSRについて以下の3項目について報告した。

### ① オンライン化について

査読のオンラインについては現状のシステムに問題ない。問題となっているのは、紙ベースの学会誌をオンライン化することについてで、JSR編集委員会で検討の結果、学会誌とオンラインの両方をしばらくの間併用したいと意見がまとまった。費用面でも検討したが、安価なコストですぐにでも実現が可能であることがわかった。

各理事から多数の要望や意見がでて、最終的には平林理事から2015年1月から開始する方向で契約を進めると報告した。

### ② 二重投稿規程について

平林理事が、委員会にて策定した二重投稿規程に関する方針案を提示した。各理事から多数の要望や意見がでて、持田理事長が、理事からの意見をもとに詳細をJSR編集委員会で再度検討するよう指示した。

### ③ COIについて

平林理事が、COIについての報告書案を提示し、なるべく簡便で利用しやすいものとしたと説明した。各理事から多数の要望や意見がでたが、提出された案でJSRについてのCOI報告を開始することが承認された。

## 6 休会や再入会の規定について

加藤理事が、休会や再入会について規程を作成すべきかを検討してほしいと提起した。

日整会でも専門医の期間などの件があり休会は認めておらず、特に休会の制度は必要ないとの意見が多く、定款等検討委員会の徳橋理事が、それらの規程について検討をすることになった。

## 7 評議員選考の方法について

小森理事が、評議員選考について下記のように報告した。

### 【継続審査】

- ・来年4月に任期満了となる評議員の中で、65歳以上が15名、更新辞退が5名、それ以外の現評議員からは継続申請があった。
- ・書類を事務的にチェックした結果、1名のみ当学会に関する業績が足りなかったため、選考委員会にて審議する予定である。
- ・審議方法はPDFでメール回覧予定である。

### 【新規審査】

- ・新規申請は19名で、審査方法としては、全員の申請書をPDFで選考委員へ送り、評価をお願いする。
- ・平成26年1月の理事会前に選考委員会を行い、検討した後、理事会でも審議する。

評価方法について各理事から多数の意見が提起され、その結果、推薦人は評価者からはずれ、絶対評価として○△×の3段階での評価をする方針が決定した。

## その他

小森理事が、理事の任期は2年となっているため、再任を希望する理事も、立候補の必要があること、監事については任期が4年で佐藤監事は4月で4年目となるため監事退任となることを説明した。

持田理事長が、次回理事会は2014年1月24日金曜日、神戸にて日整会専門医試験の終了後を予定していると告知し、一同了解した。

所要の議事を全て終了したため、議長は、閉会を宣言した。

以 上

平成 25 年 10 月 17 日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 持田 讓 治

監 事 小 西 宏 昭

監 事 佐 藤 哲 朗